

武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News (2018年6月)

今月の一押し

井の頭恩賜公園が、 東京2020大会のライブサイト候補地となりました

4月27日(金)に組織委員会から、東京2020大会期間中に開催されるライブサイトの候補地8ヶ所が発表され、都立井の頭恩賜公園が選ばれました。

ライブサイトとは、チケットを持っている人、持っていない人に関わらず、競技会場外で誰もがライブ中継を通じて競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる場所です。

ライブ中継以外にも、競技体験、出場国の文化の紹介、大会パートナーの出展等を通じて多種多様な催しに参加することで、オリンピック・パラリンピックをより楽しむことができます。

今年の2月10日(土)～12日(月・祝)に、都立井の頭恩賜公園の西園で開催された平昌冬季オリンピックのライブサイトでは、3日間の来場者数は6万人を超えました。

本年秋ごろには東京都と組織委員会がライブサイトの基本計画をまとめる予定となっています。

世界中で多くの人たちが心待ちにしているオリンピック・パラリンピック。東京2020大会を彩るライブサイトが身近なところに設置されるなんてとても楽しみです。

Sports for All ラグビー を開催しました！

5月20日(日)にSports for All ラグビーを開催しました。当日は晴天に恵まれ、過去2年を大幅に上回る744人の方にご参加いただきました。

午前の体験プログラムでは、本物のゴールポストを使ったゴールキック体験や、日本代表選手のタックルの衝撃を味わうウィルチェアーラグビーのタックル体験などリアルな体験に、驚きや喜びの声があちこちであがっていました。

午後は、豪華ゲストの熱いトークと、横河武蔵野アトラスターズや横河武蔵野アルティ・スターズのテストマッチを、ゲストの実況つきで大勢の方々に楽しんでいただきました。

試合は豪華ゲストの解説付き



横河武蔵野アトラスターズの皆さまには、市内3駅でのチラシ配布でもご協力いただき、ありがとうございました。



現役選手のタックル！
本物の衝撃を体感できました！



開催にあたり、武蔵野市ラグビーフットボール協会、(一社)日本ウィルチェアーラグビー連盟のみなさまにご協力いただきました。ありがとうございました。

ファミリースポーツフェアで 射撃体験を実施しました

毎年1000人を超える来場者数を誇るファミリースポーツフェア。今年も4月29日(日)に晴天のもと開催され、2197人にニュースポーツを満喫していただきました。

かけっこやボール投げからはじまり、ボルダリングやミニテニス、ボッチャなども体験できる、スポーツ推進委員が企画運営するイベントです。

そして今年度は、東京都主催のパラリンピック体験イベント「NO LIMITS CHALLENGE」も同日開催となりました。

パラリンピアンの方にも参加いただいた射撃体験会やアーチェリーの簡易体験会はとて賑やかなものとなりました。

主催されたスポーツ推進委員のみなさま、協力いただいた日本一輪車協会、NPO法人武蔵野スポーツクラブ、体育協会の連盟のみなさま、そしてボランティアでご協力いただいた亜細亜大学のみなさま、ありがとうございました。



射撃の体験会の様子



「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」では、月に一回、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に関する情報、市の関連イベントなどをお知らせします。

さらにタイムリーな情報については、以下のfacebookページをご覧ください。

facebookページ「武蔵野市Sports for All情報」 <https://www.facebook.com/musashinoolypara/>



第四小学校のパラリンピック体験学習の様子をご紹介します

市ゆかりの選手である青木洋子選手と田中章仁選手にご協力いただき、5月15日(火)に市立第四小学校でパラリンピックの授業支援を行いました。青木選手からは視覚障害者マラソンについて、田中選手からはブラインドサッカーについてお話と実技指導をしていただきました。

アイマスクをして視覚障害者の世界を体験した児童からは「目が見えないとどういふところが怖いかわかった」という感想があり、伴走者を体験した児童からは「(選手に)声をかけるタイミングが難しかった」という感想がありました。

ブラインドサッカーの授業支援では、田中選手のドリブルやシュートを見た子どもたちから「すごい」と歓声があがり、実技体験では「楽しい」「音だけでも(意外と)ゴールの場所が分かる」という感想も多く出ました。授業の後は教室で選手と一緒に給食を食べ、交流を深めました。体験学習を通して、子どもたちは様々な気づきを得ることができたようです。

市では、今後も市立の小・中学校を対象に、オリンピック・パラリンピックの授業支援を実施していきます。

田中選手、青木選手をはじめ、授業支援にご協力いただいたNTTクラリティ株式会社の皆さま、ありがとうございました。



選手をガイドして走る伴走者体験も実施しました

ラグビーワールドカップ2019™のボランティア募集が開始されました

ラグビーワールドカップ2019で活躍するボランティアの募集が開始されました。

主な活動内容は、スタジアムでの観客のサービスサポートや駅周辺での誘導案内、ファンゾーンの運営サポートなどです。アジアで初めてラグビーワールドカップが開催されるこの機会に、ボランティアとして関わってみませんか？

詳しい応募方法は、大会公式ウェブサイトをご確認ください。

○ラグビーワールドカップ2019 大会公式ウェブサイト
<https://www.rugbyworldcup.com/volunteers>

市からの情報

当市ゆかりの選手情報

●有馬 優美 選手【市在住】 青木 美友 選手【藤村女子高等学校出身】 吉田 拓馬 選手【市在勤】 泉尾 麻貴子 コーチ【藤村女子高等学校出身】(水球)

◇市にゆかりのある選手とコーチ4名が市役所を訪れ、報告をしてくれました。

4月に行われた「FINA水球ワールドリーグ2018インターコンチネンタルカップ」において、水球日本代表(ポセイドンジャパン)の男子が3位、女子が5位の成績を収め、女子が5月28日(月)から、男子が6月18日(月)から開催される「FINA水球ワールドリーグ2018スーパーファイナル」への出場権を獲得しました。

この結果を受けて、4月27日に選手とコーチが市長のもとへ試合の報告をしに来庁されました。選手からは、スーパーファイナルへの抱負とともに、2020年への熱い想いをお話いただきました。

10月に武蔵野市で開催する「Sports for All 水球」は今年で3回目を迎えます。有馬選手、青木選手をはじめ、毎回多くのポセイドンジャパンが来場し、会場を沸かせてくれます。子供たちが選手と一緒に水球を体験できるプログラムとなっていますので、そちらもお楽しみに。

さらに、オリンピックの開催国枠として、2020年東京オリンピックへのポセイドンジャパンの出場が男女ともに決定しました！2020年もポセイドンジャパンの活躍にご注目ください！

●鍋島 莉奈選手(マラソン)【市在勤】

5月3日(木・祝)開催の「ペイトン・ジョーダン招待陸上2018」に出場し、女子5000mの部で、11位に輝きました。また、5月20日(日)開催の「セイコーゴールデングランプリ陸上2018大阪」では女子3000mで自己ベストを更新し、歴代4位に輝きました。鍋島選手は日本人選手の中で屈指の実力を持つ選手です。鍋島選手の今後の活躍にご注目ください！

●林 滉大選手(聴覚障害者サッカー)【市在学】

4月23日(月)～5月7日(月)に韓国・昌原市で開催された「第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会」で、林選手が男子日本代表として銀メダルを獲得しました。林選手は5試合すべてに出場し、うち4試合はスターティングメンバーに名を連ね、2ゴール・3アシストの活躍で銀メダル獲得に大きく貢献しました。この大会での銀メダルは日本代表として過去最高の成績です。



表敬訪問の様子

【問合せ】武蔵野市総合政策部企画調整課(オリンピック・パラリンピック担当) 宮本・谷藤
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1970(直通) FAX 0422-51-5638
メールアドレス SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp

※「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」を設置・配布していただける施設・店舗・団体を募集しています。ご協力いただける方は、送付先・必要部数などをご連絡ください。